

室内“ひろしまストリート陸上プラス” スペシャル 開催!!



新緑の平和大通りでの名物イベント、「ストリート陸上」が新型コロナウイルスの影響を受けて室内開催となって2年目。2021年11月20日、広島グリーンアリーナ(県立総合体育館)のフロアに、元気でスポーツ体験を楽しむ子どもたちの歓声が響き、夏の東京五輪メダリストらとの「競演」を繰り広げました。

(詳細は2~3ページへ掲載)



東京五輪 アーチェリー競技
男子団体 銅メダル 河田悠希選手



東京五輪 日本選手団主将
陸上競技日本代表 山縣亮太選手
(一財)広島陸上競技協会から日本新記録の記念品を贈られました。

室内

“ひろしまストリート陸上プラス” スペシャルを開催

5月のフラワーフェスティバルの呼び物となったストリート陸上は、舞台を同アリーナに移して2回目となりました。広島県スポーツ協会、広島陸上競技協会、広島市スポーツ協会三者が「コロナ禍で、子どもたちの運動不足を補い、スポーツと触れ合う楽しさを体験しよう」と参加を呼び掛けました。当初、8月中旬の実施を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大が依然として収まらず、やむなく延期となりました。

11年前、広島でのストリート陸上を発案し、毎回駆けつけている男子400m障害の元プロアスリート、為末大さん(広島市佐伯区出身)が今回も足を運んでくれました。参加者は幼児から小学6年生までの約800人(保護者を含む)。「古里でストリート陸上を始めて10年以上。ずっと続けてくれてうれしいです。コロナ禍でも、今日は思い切り体を動かしていろんなスポーツを体験してください。才能はどこにあるかわからないのですよ」。為末さんは広島の子どもたちをそう励まして、イベントの開始を告げました。



2度目の室内「スト陸」は新趣向が盛りだくさん。来場者が密にならぬよう、ピンクとブルー2色のリストバンドで色分けして、交互にフロアに降りてスポーツ体験に臨みました。アリーナ入場の際には体温チェックや消毒、マスク確認などコロナ対策も怠りませんでした。



今回のスポーツ体験は①50m走②ハンドボール③ユニバーサル

ホッケーの3競技。ゲストは為末さんのほか、広島に本拠を置くホッケー女子、コカ・コーラレッドスパークスから東京五輪代表の錦織えみ、三橋亜記選手ら8人、同じくハンドボール女子イズミの五輪代表板野陽、堀川真奈両選手、元湧永製薬のプレーヤー志水孝行・呉工業高校教諭ら多彩な顔触れでした。さらに、東京五輪のアーチェリー男子団体で銅メダルに輝いた河田悠希選手(廿日市市出身、エディオン)はメダルを胸に、参加してくれました。



開会式で県スポーツ協会の神出亨会長は「一流選手のすごさを感じて、体を動かす楽しさ、面白さを体験してください」と子どもたちを励まし、ゲストのアスリートたちが紹介されました。

最初はフロアいっぱいの親子による「アクティブチャイルドプログラム」で始まりました。遊び感覚、楽しみながらのゲーム感覚で体を動かし笑顔が広がっていました。

午後2時からいよいよスポーツ体験が始まりました。アリーナはハンドボール、ホッケー、50m走の3つのゾーンに分けられました。子どもたちは思い思いに各ゾーンで競技にチャレンジしていきましました。

ハンドボールは、ゴール目がけてのシュート体験です。指導役の志水さんは元日本代表GKでした。もう1人の指導役、元イズミの高山智恵さんは「いいよ」「うまい」と声を掛けていました。シュートが見る間に上達した広島市佐伯区、河内小6年の山田匠悟さんは「体育が好きなので参加した、見よう見真似だったが思ったよりハンドボールが上達した」と息を弾ませていました。

未来を、ひろげる。



私たちは、お客さまに寄り添い、声に耳を傾け、
真に信頼される〈地域総合サービスグループ〉として
お客さまとともに、この地域の未来をひろげます。

 **ひろぎんホールディングス**

広島銀行 | ひろぎん証券 | しまなみ債権回収 | ひろぎんキャピタルパートナーズ | ひろぎんリース
ひろぎんITソリューションズ | ひろぎんエリアデザイン | ひろぎんヒューマンリソース

(2021年4月1日現在) [2107]



ホッケーは室内用のプラスチックボールとスティックを使用し、ドリブルからシュートに持ち込むプレーの体験です。レッドスパークス選手の指導も次第に熱を帯びていきました。1週間前に日本リーグプレーオフ決勝で黒星を喫したにもかかわらず、笑顔で接する姿が印象的でした。

50m走は今回、上級生は全天候型のウレタンコートの走路を使用し、QRコードで記録も自動的に計測されるなどハイテク化していました。参加した小学生以上のほぼ全員が走り終わっていました。一方、アーチェリーの河田選手は一人ひとり丁寧に用具を説明し、競技の質問に答えていました。子どもたちは450gの銅メダルをさわって感触を楽しみました。真っ先に触った広島市安佐南区、長束小4年、井手楓さんは「メダルはずっしりと重かった」と驚いた様子でした。

体験イベントが一段落した後、五輪選手によるデモンストレーションが始まりました。ホッケー日本代表、浅井悠由選手はスティックから豪快にシュートを放ち、子供たちのため息を誘いました。女子ハンドボールは堀川選手のシュートをGK板野選手がセービングし、大きな拍手に包まれました。

ハイライトは銅メダリスト河田選手による70m試射でした。場内が固唾をのんで見守る中、最初の矢は70m先にあるCD1枚分という真ん中の「10点」を見事に打ち抜いたので。続く2本のチャレンジは「8点」でしたが、「広島のロビン・フッド」河田選手の妙技に目を奪われていました。

続いて、50m走で最もタイムの良かった5、6年男女4選手は最後に、2004年アテネ五輪陸上短距離代表の松田亮さん（広島経済大准教授）と競走しました。参加者中最も速い7秒44をマークした広島市西区、高須小6年、仲村海莉さんは「力強い腕振りを意識して走った。でも（松田さんに）どんどん離されてしまった」と悔しそうでした。

最後のイベントは為末さんとホッケー代表、錦織選手が50m走のマッチレースを演じました。現役の五輪ホッケー代表と過去3回五輪陸上出場の為末さんの対決は大盛り上がりです。チームメートが大声援を送る中、好スタートを切った錦織選手でしたが、そこは元世界選手権銅メダリストの実力で、為末さんの圧勝となりました。

この後、「サプライズ」が待っていました。陸上男子100m9秒95の日本記録を持ち、東京五輪で日本選手団の主将を務めた広島育ち（修道中、高出身）のスプリンター、山縣亮太選手が姿を見せたのです。所用で里帰りし、激励にやってくれたのです。広島陸協から日本記録樹立の記念品を贈られた山縣選手は「日本選手団主将になれてうれしかった。次のパリ・オリンピックにもいい形で出たい」と力強く話し、会場を後にしました。

4時間のスポーツイベント「スト陸」に子どもたちはすっかり満足した様子でした。開催を提唱した為末さんは「いろんなスポーツを体験して、好きなことにチャレンジし続けてください。来年はフラワーフェスティバルの会場でやればいいですね」と、締めくくってくれました。

広報委員会 委員長 渡辺 勇一



さあ、ともに 未来へ!

ラグビー部

女子卓球部

陸上競技部

中国電力ではシンボルスポーツ部の活動を通して、地域のスポーツ発展に貢献するだけでなく、夢に向かって挑戦し続けることの大切さを子どもたちに知ってほしいと願っています。

中国電力株式会社

https://www.energia.co.jp/



令和3年度

叙勲・褒章・文部科学大臣表彰受章祝賀式

公益財団法人広島県スポーツ協会スポーツ賞表彰式



令和2、3年に叙勲・文部科学大臣表彰等を受章された公益財団法人広島県スポーツ協会ならびに加盟団体関係者の祝賀式、公益財団法人広島県スポーツ協会スポーツ賞表彰式を令和3年12月4日(土)、広島市内のホテルで開催しました。

叙勲・褒章・文部科学大臣表彰受章者

【令和2年度】

叙勲

旭日中綬章(地方自治功労)

山本 靖雄 一般財団法人広島陸上競技協会顧問
(元 一般財団法人広島陸上競技協会副会長)
広島市陸上競技協会会長

旭日中綬章(私学振興功労)

石田 恒夫 公益財団法人広島県体育協会参与
公益財団法人広島県体育協会特別会員
学校法人石田学園広島経済大学理事長
広島県スキー連盟名誉会長
(前 広島県スキー連盟会長)

旭日中綬章(地方自治功労)

平田 修己 前 広島県軟式野球連盟副会長
三原市軟式野球連盟名誉会長

旭日中綬章(産業振興功労)

深山 英樹 広島県バドミントン協会顧問
(元 広島県バドミントン協会会長)
広島商工会議所名誉会頭

旭日小綬章(放送事業功労)

青木 暢之 一般財団法人広島県バスケットボール協会顧問
(前 一般財団法人広島県バスケットボール協会会長)

旭日双光章(中小企業振興功労)

鷺野 政人 一般財団法人広島県バレーボール協会名誉顧問
(前 一般財団法人広島県バレーボール協会会長)

旭日双光章(薬事功労)

高橋 英富 公益財団法人広島県体育協会特別会員
ティーエスアルフレッサ株式会社代表取締役会長
一般社団法人広島県卓球協会名誉顧問
(元 広島県卓球協会会長)

旭日双光章(スポーツ振興功労)

山本 一 公益財団法人広島県体育協会評議員
広島県ハンドボール協会会長

文部科学大臣表彰

(生涯スポーツ功労)

松尾 厚弘 一般財団法人広島県剣道連盟副会長
木原 晴彦 公益財団法人広島県体育協会評議員
広島県ソフトテニス連盟理事長
山田 雅昭 一般社団法人広島県山岳・スポーツクライミング連盟
会長



左から 山本靖雄氏、深山英樹氏、山本一氏、
松尾厚弘氏、山田雅昭氏

【令和3年度】

文化功労者(スポーツ振興)

中谷 雄英 公益財団法人広島県スポーツ協会参与
広島県柔道連盟名誉会長(前 広島県柔道連盟会長)

叙勲

旭日中綬章(港湾建設事業功労)

村重 芳雄 公益財団法人広島県スポーツ協会特別会員
元 五洋建設株式会社社長

旭日小綬章(保健衛生功労)

平松 惠一 広島県体操協会名誉会長
(前 広島県体操協会会長)
元 一般社団法人広島県医師会会長

旭日双光章(納税功労)

内海 康仁 広島県ボート協会副会長
広島県ゴルフ協会副会長

旭日双光章(地方自治功労)

助木 達夫 三次市体育協会会長

旭日双光章(スポーツ振興功労)

武鐘 守 公益財団法人広島県スポーツ協会参与
(元 公益財団法人広島県体育協会常務理事)
広島県ソフトテニス連盟副会長

旭日単光章(スポーツ振興功労)

林 喜久子 広島県スケート連盟副会長

瑞宝双光章(地方自治功労)

山本 航三 公益財団法人広島県スポーツ協会常務理事
一般財団法人中国ゴルフ連盟専務理事

瑞宝双光章(消防功労)

野本 一広 呉市体育協会理事長
一般財団法人広島県バレーボール協会参与
(元 一般財団法人広島県バレーボール協会理事)

瑞宝双光章(教育功労)

門田 三雄 庄原市スポーツ協会顧問(元 庄原市体育協会会長)
庄原さくらスポーツクラブ理事長

文部科学大臣表彰

(生涯スポーツ功労)

亀井 且博 一般社団法人広島県山岳・スポーツクライミング連盟副会長
西尾 明 一般財団法人広島県バスケットボール協会副会長
久保 真也 広島県アイスホッケー連盟理事長



左から 中谷雄英氏、平松惠一氏、内海康仁氏、助木達夫氏、
武鐘守氏、林喜久子氏、山本航三氏、野本一広氏、西尾明氏、
久保真也氏

令和3年度公益財団法人広島県スポーツ協会スポーツ賞受賞者

功労者の部

龍本武直、野崎秀和、大林和彦(陸上)、富永健三(水泳)、柴田光雄、松浦正(柔道)、平川龍馬、福井悦郎、矢吹秀介、三好伸二(剣道)、和田尚樹、田中勝秀(弓道)、次次伸一郎、岡田康廣(フェンシング)、永尾敏郎、坂口俊治(軟式野球)、吉岡敏彦(ハンドボール)、栗栖久章(バレーボール)、中木淳子(テニス)、上崎博、河下寿昭、八谷摩里(ソフトテニス)、森千月、金尾美穂(体操)、内海康仁(ボート)、正路太、松田伸治、伊藤大介、西村豊(スキー)、大中恒男(スケート)、久保真也(アイスホッケー)、中本和成(アーチェリー)、宮本顯(空手道)、奥窪邦秀(エスキーテニス)、梶川洋子(ドッジボール)、天野稔也、砂橋昌義、宇都宮崇、寺西賢次、日浦章裕、林健治、山田夏江、田中譲二(広島市)、佐々木元、山下勝義、山村貞夫、大之本洋之介(呉市)、高橋鉄雄(尾道市)、松川尚曉、原田弘人、村上裕正、江種幸男、宮福治(福山市)長野貢、河野哲男、巢守俊英、松末博美(大竹市)、小川博正、中田富雄(府中町)、片川学、福山英二(熊野町)、村山祐司、江本良時(高体連)、堂本ひさ美(県スポーツ協会)、檜皮浩二、米元広治、亀本誠、大石信洋(スポーツ少年団)



功労者 大林和彦

国際大会優秀の部

【令和3年】

サッカー	大迫敬介(サンフレッチェ広島)
バレーボール	小野寺太志(JTサンダース広島)
アーチェリー	河田悠希(㈱エディオン)
ハンドボール	安藤かよこ(イズミメイプルレッズ)
ウエイトリフティング	佐古浩
スノーボード	竹内智香(広島ガススキー部)



国際大会 河田悠希(アーチェリー)



全国団体 広島県選抜 高垣美鈴(ソフトボール)

全国大会団体優勝の部

【令和2年】

陸上	広島県立世羅高等学校(男子、女子)
飛込	福山平成大学水泳部ダイビングチーム
ホッケー	コカ・コーラレッドスパークス
ソフトテニス	NTT西日本ソフトテニス部
卓球	中国電力株式会社
アーチェリー	株式会社エディオンアーチェリー部
ボウリング	呉市役所チーム

【令和3年】

AS	アーティスティックスイミング広島
飛込	福山平成大学水泳部ダイビングチーム
ソフトボール	広島県選抜 広島市立翠町中学校
テニス	山陽女学園中等部
ソフトテニス	どんぐり北広島A
卓球	中国電力株式会社
ボウリング	JFE西日本Aチーム

新記録の部

【令和2年】

アーチェリー	チーム エディオン (岩田歩、河田悠希、菊地栄樹)
パワーリフティング	後藤優誠(広島電鉄㈱)

【令和3年】

陸上	山縣亮太(セイコーホールディングス)
パワーリフティング	亀谷充男(㈱エイテック)

第75、76回国民体育大会優勝及び入賞の部

【第75回(令和2年)】

スケート	
ショートトラック	谷本 陽(広島女学院高等学校)
フィギュア	監督 前雅美(㈱ボラボラ) 三島悠生(崇徳高等学校) 鈴木零偉(広島県立安古市高等学校)

【第76回(令和3年)】

スケート	
ショートトラック	谷本 陽(広島女学院高等学校)

全国大会個人優勝の部

【令和2年】

陸上	小林青(鹿屋体育大学) ムワンギ・レベッカジュリ(ダイソー) 追田力哉(広島県立西条農業高等学校(開催当時)) 村上碧海(広島県立西条農業高等学校) コスマス・ムワンギ(広島県立世羅高等学校) テレシア・ムッソーニ(広島県立世羅高等学校(開催当時))
アーチェリー	河田悠希(㈱エディオン) 天神聡子(広島県立佐伯高等学校)
パワーリフティング	後藤優誠(広島電鉄㈱)

【令和3年】

陸上	コスマス・ムワンギ(広島県立世羅高等学校) 村上碧海(広島県立西条農業高等学校) 安立雄斗(福岡大学) 谷本七星(名城大学)
AS	竹岡小夏(広島市立五日市観音小学校) 比嘉もえ(広島市立観音中学校)
柔道	藤本偉央(崇徳高等学校)
剣道	福岡さくら(広島市立祇園東中学校)
テニス	渡辺葵依(広島市立五月が丘小学校) 上野梨咲(山陽女学園中等部) 井上季子(山陽女学園中等部) 遠藤愛渚(山陽女学園中等部)
ソフトテニス	濱島怜奈(ひろしま協創高等学校) 高橋乃綾(どんぐり北広島ソフトテニスクラブ) 河盛由香利(廿日市クラブ) 海口 真(広島中央クラブ)
バドミントン	日野石智子 村上 恵
卓球	岩崎健三(サンスポーツクラブ)
自転車	田村一暉(崇徳高等学校)
ボート	福原萌意(立命館大学)
アーチェリー	天神聡子(広島県立佐伯高等学校)
ボウリング	石本美来(JFE西日本) 渡邊 陽(福山市立深津小学校)
パワーリフティング	亀谷充男(㈱エイテック) 後藤優誠(広島電鉄㈱)



全国個人 村上碧海(陸上)



国体入賞 谷本陽(スケート)



新記録 チームエディオン 岩田歩(アーチェリー)



受賞者を代表して謝辞を述べる 河田悠希(アーチェリー)

「スーパージュニア選手育成プログラム2021」体験プログラム①

スーパージュニア選手育成プログラム2021のトライアル(選考会)については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止にしましたが、感染状況が落ち着いてきたのでトライアルに申し込みがあった方を対象に、希望調査をとり、体験プログラムを実施しました。

11月13日(土)の体験プログラム①は、ボウリングを行いました。

体験プログラム①のボウリングは、広島県ボウリング連盟のご協力のもと、広島市中区の広電ボウルで開催しました。

開会行事では、公益財団法人広島県スポーツ協会の堂本ひさ美常務理事(強化副委員長)から、挨拶をいただきました。



最初にボウリングの基本的なルールを教えてください。日ごろ家族や友達とゲームを楽しむ時とは違って、今回はスポーツとしてのボウリングを体験するため、ルールもしっかり意識しなくてはなりません。続いて、国体でも活躍している指導者の方々や小中学生の選手の模範投球を見せていただいた後、しっかり準備運動をして投球フォームの練習です。はじめはボールを持たずに正しいフォームを身に付けます。フォームがさまになってきたところで、いよいよ自分に合ったボールを持って、練習投球開始です。

実際にレーンにボールを投げてみると、さっきまでできていたフォームが崩れてしまう選手たち。ボールを変えたり、指導者の方に沢山質問をしたりしながら修正をしています。



練習投球が終わると、ゲーム形式で2ゲームのスコアをとりました。

力のあるボールでストライク・スペアを取る選手もいれば、狙ったとおりにいかず悔しい表情をみせる選手も。お互いに良かった時はハイタッチで喜びあう姿も印象的でした。個人競技のイメージが強いボウリングですが、国体など様々な大会で団体戦があるので、こうしてチームを盛り上げる雰囲気は大切です。

今回、ボウリングをしたことがある選手は沢山いましたが、スポーツとしてのボウリングの体験は新鮮だったのではないのでしょうか。時間の関係上、一投目の投球しか教わる事ができませんでしたが、奥の深いボウリングに興味を持って、スポーツとして競技として続けていく選手が出ると嬉しいです。



第46回 広島県民スポーツ大会開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、柔道競技(一般・スポーツ少年団の部)、ソフトボール競技(一般・スポーツ少年団の部)、バスケットボール競技(一般の部)、ソフトテニス競技(スポーツ少年団の部)が中止となったが、開催した競技会では体調確認や検温を行い、手指の消毒や競技中以外でのマスク着用を呼びかけ、各競技役員や参加者の協力で無事終了することができた。

悪天候等により中止となった競技はなく、一般の部・スポーツ少年団の部、計2,706人が参加し熱戦を展開した。

また総合型地域スポーツクラブ交流会を11月3日(水・祝)に行った。参加者66名で江田島市の景勝地『天狗岩』に登り、交流を深めた。

(詳細はHPへ掲載)

各競技の1位は次のとおり。

競技【部】	種別	種目	第一位		
陸上	スポーツ少年団の部	小学	男子	100m	尾下 夢叶 (くれJAC)
				80mH	早崎 滉世 (CHASKIジュニア)
				4×100mR	広島JrOC-A
			女子	走幅跳	谷口 風心 (竹尋アスリートクラブ)
				100m	三好 美羽 (竹尋アスリートクラブ)
		中学	男子	80mH	鷹田 幸 (東広島TFC)
				4×100mR	竹尋アスリートクラブA
				走幅跳	樋口 弥音 (竹尋アスリートクラブ)
			女子	200m	橋本 鉄太 (CHASKIジュニア)
				4×100mR	御野陸上スポーツ少年団
	一般の部	男子	走高跳	森生 光 (吉和AC)	
			砲丸投	藤谷 直斗 (庄原市)	
	剣道	スポーツ少年団の部	男子	200m	増原 優羽 (CHASKIジュニア)
				4×100mR	古田中学校
				走高跳	今岡 莉乃 (東広島TFC)
			女子	砲丸投	堂前ゆきの (庄原市)
				3000m	藤井 雄大 (CHASKIジュニア)
				砲丸投	仁泉健太郎 (湯田陸上)
		一般の部	男子	4×100mR	東広島TFC
				女子	4×100mR
バレーボール		一般の部	男子	呉市A	
			女子	広島市西区	
	男子		金川會 (尾道市)		
	女子		大和 (三原市)		
	男子		因島BJC-A		
	女子		美鈴が丘JBC		
テニス	一般の部	大竹市			
バドミントン	スポーツ少年団の部	男子	因島BJC-A		
		女子	美鈴が丘JBC		
	一般の部		広島市安佐南区		

競技【部】	種別	種目	第一位		
卓球	スポーツ少年団の部	男子	小学1・2年生	田中 遥翔 (ヒロタク)	
			小学3・4年生	有働 葵 (可部町卓球)	
			小学5・6年生	田中 颯馬 (ヒロタク)	
			中学1年生	原 涼太 (広島フェニックス)	
			中学2年生	吉川 達規 (ヒロタク)	
		女子	小学1・2年生	菅 奈都美 (ヨシダTTS)	
			小学3・4年生	山本 祐菜 (可部町卓球)	
			小学5・6年生	山本 玲菜 (可部町卓球)	
			中学1年生	松本 唯花 (広島フェニックス)	
			中学2年生	藤井 美佑 (ヒロタク)	
		一般の部		広島市西区A	
	空手道	組手	個人戦	小学生1・2年生男女	寺西 春翔 (拳志館下黒瀬)
				小学生3・4年生男子	祐宗 吟治 (和道流)
				小学生5・6年生男子	高藤 煌大 (戸 坂)
中学生男子				辻 瑞輝 (拳志館八本松)	
高校生男子				三好 龍弥 (安芸府中高)	
女子			小学生3・4年生女子	藤谷 桃羽 (和道流)	
			小学生5・6年生女子	橋本 莉桜 (安芸府中)	
			中学生女子	小西 永遠 (世 羅)	
			高校生女子	高科 京奈 (本 郷)	
			団体戦	世羅 (世羅町)	
個人戦		小学生9級以下	河本 一輝 (五日市)		
		小学生7・8級	藤中結衣菜 (海田町)		
		小学生5・6級	下地 莞右 (五日市)		
		小学生3・4級	三原 康椰 (五日市)		
形	小学生2級以上	矢野 光 (牛田新町)			
	中学生男子	栗原 怜之 (拳志館安芸)			
	中学生女子	佐々木絵梨 (拳志館安芸)			
	高校生男子	谷 柊瑳 (天 応)			
	高校生女子	小池 蓮華 (東 浄)			
	団体戦	安芸府中 (府中町)			
ゴルフ	一般の部	男子	東広島市B		
		女子	尾道市		



アーティスティックスイミング史上最年少日本代表 第19回世界水泳選手権大会へ向けて



比嘉 もえ
(広島市立観音中学校2年、アーティスティックスイミング広島)

2021年度の主な成績

・第44回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技会

13-15歳ソロ	150.9580	優勝
13-15歳デュエット	146.8206	優勝
13-15歳チーム	139.1993	2位

☆チーム種目にて必ずメンバーに入り、メダル奪還に向け貢献できるように頑張ります!



世界水泳日本代表コーチ
片山 満津芳(アーティスティックスイミング広島)
☆私自身、世界水泳日本代表コーチは12年ぶりとなります。

今年度、全国JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会13-15歳の部にてソロ・デュエット種目で優勝した比嘉選手は指定された国内大会での選考会参加資格を、この大会でようやく得ることができ、第一次選考会、日本代表候補合宿と進み、最終選考会に臨んだ。

第一次選考会の選考課題は東京オリンピックデュエットで金メダルを獲得したロシアのデュエット(テクニカルルーティン)を泳ぐことだった。中学生の比嘉選手は未だ練習でやったことのないシニアのエレメントをJOから戻った8月末から取り組み始めた。代表候補合宿では自分の歳の倍以上ある選手に紛れて、新しく作られたチームテクニカルの練習をした。この種目が最終選考会での課題ルーティンである。

彼女は高身長で恵まれた体格であるため、それを生かす為、より一層、高さにこだわり大きさをアピールすることと、エレメントの正確性を重視し練習を積んだ結果、今夏、オリンピックに出場した選手たちに決して見劣りしない高さ・技術力を発揮し、7位で世界水泳日本代表の座を獲得することができた。

代表に選ばれてから、すでに二回目の合宿が行われているが、チームメンバー8名に選ばれるべく、毎日が選考会のような競争の中、練習を続けている。そして必ず世界水泳の舞台でそのメンバーとして泳ぎ、悲願のメダル奪還を目指すことを目標に、微力ながら支えていきたい。



『快適』に新しいカタチを。

変わり続ける世の中に、技術力で応え続ける。
時代が待ち望む快適な環境をつくり出すために、
総合設備エンジニアリング企業として
さまざまな現場で幅広い工事を手掛けています。
そして、快適な明日を支える、
省エネで持続可能な社会の実現へ。
さらなる成長を続け、技術で未来を施工する、
私たち中電工です。

中電工

／ 屋内電気工事 / 空調管工事 / 情報通信工事 / 配電線工事 / 送変電地中線工事 / リニューアル工事 / エネルギー関連工事 / 環境関連工事 /

〒730-0855 広島市中区小園町6番12号 TEL.082-291-7411 www.chudenko.co.jp